



別寒辺牛川水系及び厚岸湖・厚岸湾に生息する イトウ (*Hucho perryi*)成魚の行動生態の解明

本多 健太郎¹・鍵和田 玄¹・高橋 伸幸²・宮下 和士³

¹ 北海道大学大学院環境科学院 ² 北海道大学水産学部 ³ 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

イトウってどんな魚？



イトウ

- 日本で最も大きな淡水魚
- >1.5mに成長し, 15 年以上生きる
- 日本では現在北海道のみに生息
- 絶滅危惧種IA類に指定 (IUCN)

研究の目的

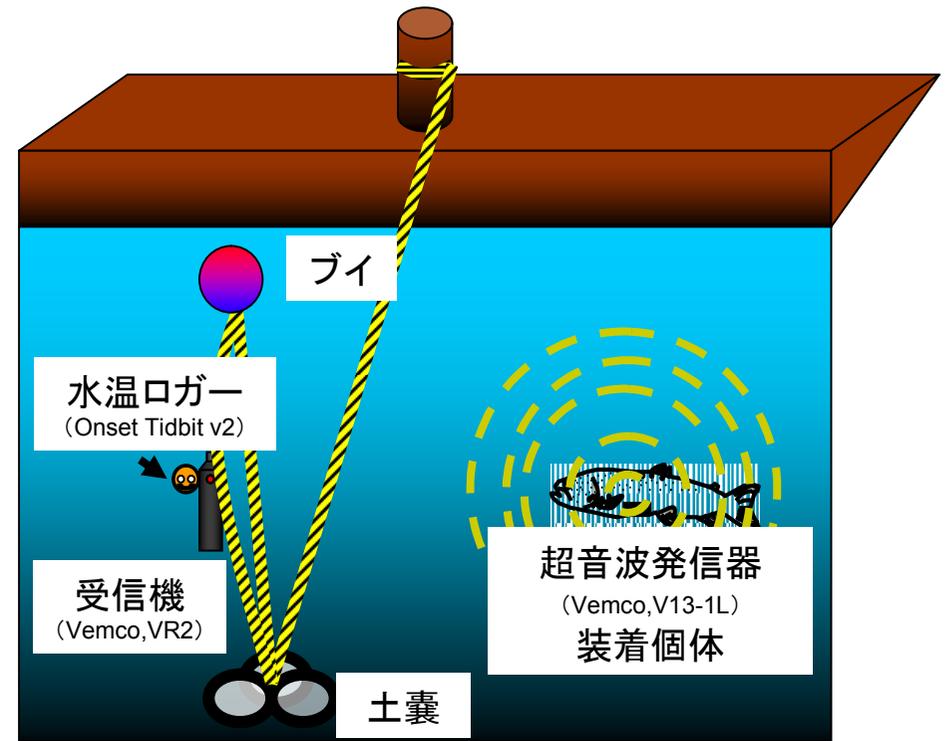
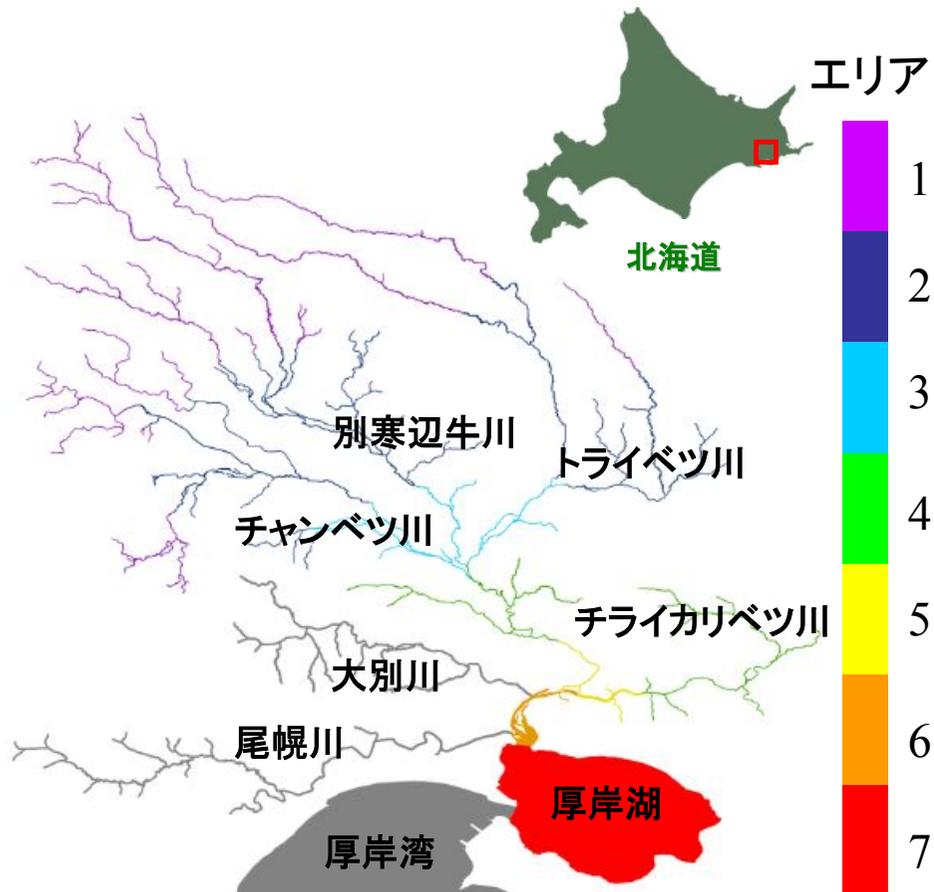
- 季節的な生息域や移動を明らかにする
- イトウが利用する生息環境を理解する
- 生態情報を長期的に収集し、年毎の変化を見る



研究手法

超音波発信器を装着したイトウ成魚15個体を，河川上流域から厚岸湖まで計28箇所に沈めた受信機で追跡した！！

- 調査期間: 2009年4月～11月
- 調査水域: 別寒辺牛川水系・厚岸湖
(調査水域を7つのエリアに分割)



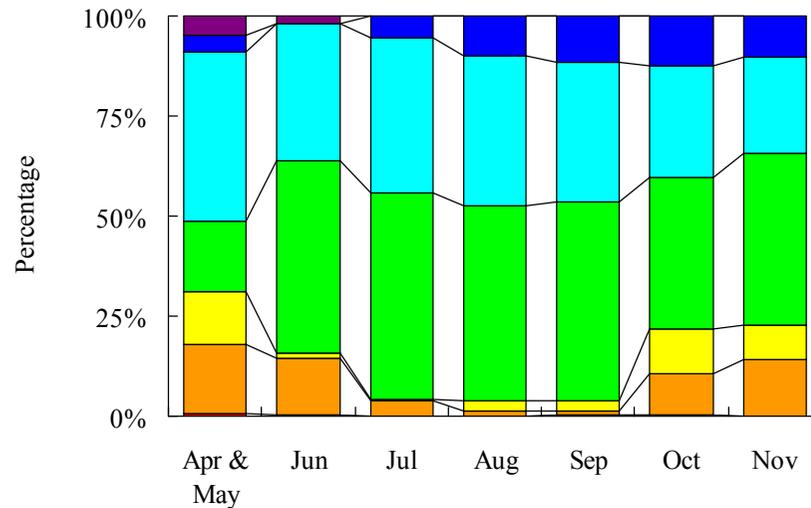
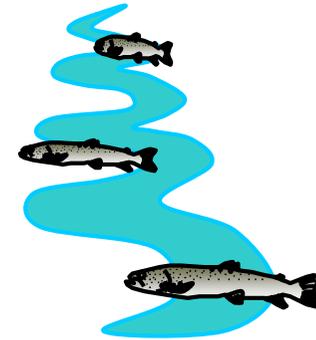
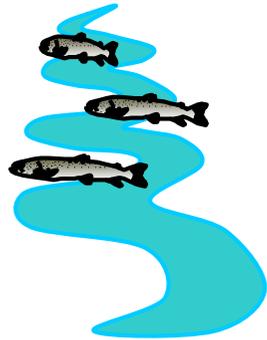
受信機の設置方法・追跡魚が受信される様子

さらに、

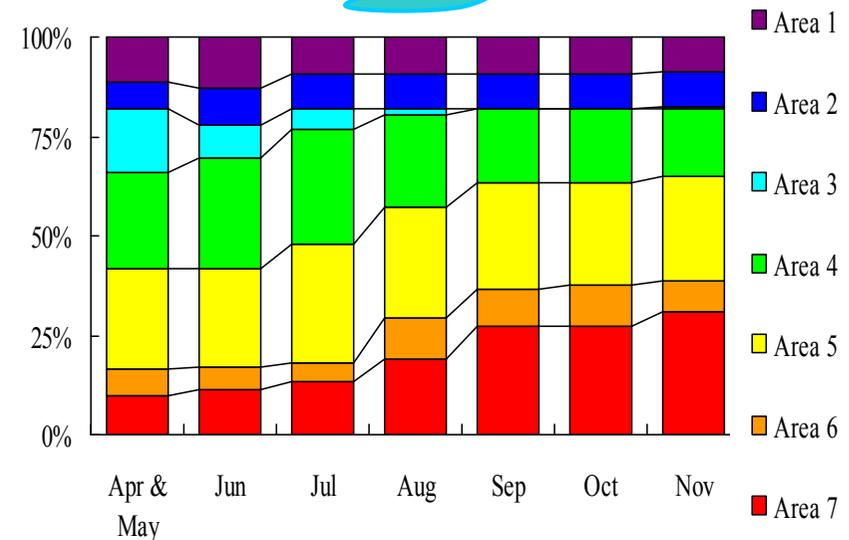
毎月1台の受信機をカヌーで曳航し、
イトウがいる位置を特定した

こんなことがわかった(その1)

- 2009年と2008年で利用する場所が異なっていた



- 2008年
- ・主に中流域を利用
 - ・夏に下流域から中流域へ移動

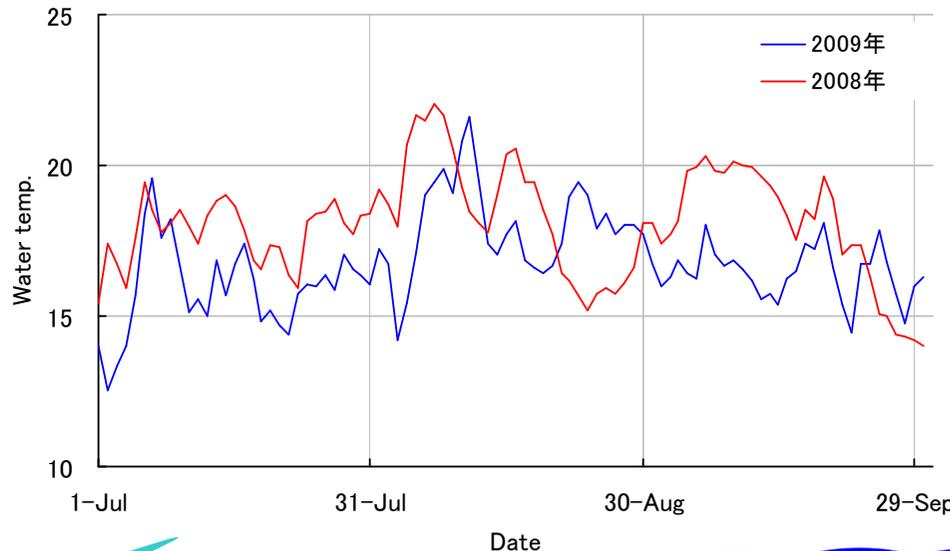


- 2009年
- ・流域全体を利用
 - ・季節性がみられない

でも・・・どうしてだろうか??

こんなことがわかった(その2)

夏(7~9月)の下流域の水温



2008年...平均18.0°C
2009年...平均16.8°C

⇒ 2008年の方が暑い!

